

令和7年度淀川区区政会議 第1回教育・子育て部会 議事要旨

日 時：令和7年9月16日（火） 午後6時30分～午後8時00分

場 所：淀川区役所 6階 会議室

出席者：

- ・委員（8名中5名出席）

梅原委員、亀村委員、佐々木（サ）委員、田中（研）委員、歯黒委員

- ・区役所

古川区長、畠中副区長、米田政策企画課長、矢野こども教育担当課長、堀健康推進担当課長、天野政策企画課長代理、岡田保健福祉課教育支援担当課長代理、中野保健福祉課子育て支援担当課長代理、野崎保健副主幹ほか

内 容：

1. 開 会

2. 議 題

（1）将来ビジョン2029（素案）について

（2）ヤングケアラーをテーマとした意見交換

（3）区政会議におけるご意見への対応方針について

（4）その他

3. 事務連絡

4. 閉 会

資 料：

【当日配付資料】

・次第

・委員名簿及び座席表

・よどマガ！9月号

・淀川区区政会議 日程調整表

【事前配付資料】

（資料1）淀川区将来ビジョン2029（素案）

（資料2）淀川区版ネウボラ支援メニュー

（資料3）ヤングケアラーへの気づき

（資料4）区政会議におけるご意見への対応方針

1. 開会

2. 議題

(1) 将来ビジョン 2029 (素案) について

○資料1について説明（米田政策企画課長、矢野こども教育担当課長）

○意見等

・経営課題2（1）について、ペアレントトレーニングについてはどういったことをされているのか。（梅原委員）

⇒月2回程度、各日10時から12時頃まで専門的な相談員により、お父さん、お母さんからお子さんの状況を話していただきながら少人数のプログラムで、どうやつたらお子さんを伸ばせるかなというところで話をしていただくというようなことをしております。（野崎保健副主幹）

・経営課題2（2）について、家庭以外のところで行政の支援で自己肯定感を上げる施策について、具体的に何か取り組まれようとしている計画などがあれば教えていただきたい。（田中委員）

⇒漢検に合格できるように学校でいろいろ工夫していただいているところと、合格してやる気につながるような取組や、講師を呼んでいろいろなお話を来ていただく大志育成プログラムの取組を行っています。（矢野こども教育担当課長）

・経営課題2（2）について、自己肯定感を高める施策について、検定合格によって自信を得る子もいる一方、不合格となった子や受験を望まない子においては、自己肯定感の向上につながるものではないと思う。自己肯定感が低い背景には家庭環境などが関係していると思われることから、そうした根本的な課題に對して聞き取るなどして取り組んではどうか。（梅原委員）

・経営課題2（2）について、ネウボラの連携先として教育委員会インクルーシブ教育推進室を加えてはどうか。（佐々木委員）

(2) ヤングケアラーをテーマとした意見交換

○（資料3）ヤングケアラーへの気づきを用いて説明（矢野こども教育担当課長）

○意見等

・外国籍の子どものことを想定して、翻訳機の導入予算を組んではどうか。

(梅原委員)

・ヤングケアラーや虐待事案など、見えにくい家庭への対応において民生委員や児童委員など地域の支援者を活用した家庭訪問などに対して予算を組んではどうか (梅原委員)

⇒現在、学校で家事の状況を尋ねるスクリーニングアンケートを行い、先生が結果を見て気づく体制はありますが、状況把握が漏れてしまうケースもあり、先生の感度を高めるべく取り組みを進めていますが、家庭訪問が難しい状況の中、困っている子にどう気づき、どう支援に結びつけるかについて試行錯誤しているところです。 (矢野こども教育担当課長)

・小中学校で実施したアンケートの結果を行政と学校が双方で共有できるシステムを作れば、現状把握はそれほど難しくないのではないかと考える。(田中委員)

3. その他

令和7年度第2回淀川区区政会議全体会議の案内

○意見

なし